

令和6年度第2回花巻市文化会館運営審議会会議録

1 開催日時 令和7年3月24日（月）午後2時00分～午後3時28分

2 開催場所 花巻市文化会館 第1、2会議室

3 出席者

委員 出席 10名

多田貢委員（会長）、佐々木和久委員（副会長）、菅原美智子委員、菊池房江委員、
祓川りみ子委員、及川有子委員、猿舘祐子委員、高橋トシ委員、高橋信也委員、
佐藤洋子委員、

欠席 なし

事務局（花巻市文化会館）6名

菅野生涯学習部長、梅原生涯学習課長、伊藤館長、滝浦上席主査、中島上席主査、
高橋主任

傍聴者 なし

4 議題（審議事項）

報告事項 (1)令和6年度花巻市文化会館の運営状況（途中経過）について

(2)令和7年度花巻市文化会館の運営方針について

5 議事録

1. 開会

[梅原生涯学習課長]

定刻になりましたので始めてまいりたいと思います。本日はお忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。

開会に先立ちまして、この会議の成立についてご報告いたします。この会議は、花巻市文化会館管理規則第16条第2項の規定によりまして、委員の半数以上の出席により成立するとされておりますが、本日は委員全員にご出席いただいております。本会議が成立することをご報告申し上げます。

続きまして資料の確認をいたします。表紙、裏側に運営審議会委員の名簿、そして1ページから14ページまでの資料となっております。そのほか、文化会館で発行している「イベントガイド」の上期号、下期号を添付しております。

それでは改めまして、次第に沿って1の開会から進めさせていただきます。ただいまから、令和6年度第2回花巻市文化会館運営審議会を開会いたします。

開会にあたりまして、はじめに当審議会の多田会長よりご挨拶をお願いいたします。

2. 挨拶

[多田会長]

この季節は年度末で、今年大半の文化会館の事業がどういうふうに進んで、市民の皆さんにいろんな役割を果たすことができたか報告をいただいて、1週間後にはもう来年度ということで、令和7年度になりますけれども、その審議をしていただくということで忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

いわゆる去年だとコロナが明けましたということで、通常通りのいろんな活動ができるようになりましたということで、スタートしたところですけども、やはりどうしてもコロナの影響があって、その他にもインフルエンザであったり季節的なものもありますけども、なかなかコロナ前のように、気軽に人がこういう場所に集まって、いろんな活動をしたり、あと発表などを鑑賞するってということがどうも何の縛りもないんだけど、それぞれのいろんなその心の底っていうかですね、ちょっと引っかかりがあるなっていう格好で全然以前のような通常通りの自分たちのやっていること、あと他の人たちがやっていることを見たり、鑑賞したりってということがどうも引っかかりが、まだちょっとトゲが大きく残っているのかなという感じですけども、そういったものがなくなる状態で、一番のその存在意義を発揮するところがこの文化会館という施設なのかなと思います。

これはやっぱりちょっと時間が経つにつれて、そういった活動になると思いますけれども、やっぱり会館の運営っていうものは、もうそれを見越した感じでどんどん逆に皆さんの中にある、ちょっと引っかかりのあるようなことをどんどんなくしてくようであればな、と私は個人的に思っておりますけれども、そういった中で来年度の活動方針も用意されているようですので、皆さんには短い時間だと思いますが、慎重なご審議をいただいて、有意義な会にしたいと思います。

本日はどうもありがとうございます。よろしくお願いいたします。

[梅原生涯学習課長]

ありがとうございました。続きまして、菅野生涯学習部長よりご挨拶を申し上げます。

[菅野生涯学習部長]

委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。

本日は、今会長がおっしゃったように今年度の実施状況、また来年度の方針ということでご説明させていただきます。

今年度の事業につきましては、滞りなく終了できたのかなと思っております。

工事のお話をいたしますと、今年度は屋上の防水工事を実施しております。

また、受変電設備と LED 照明、トイレ改修にも実施設計を実施してございます。来年度の 9 月頃から工事を行うとしております。そのため、令和 8 年度の 4 月から 10 月末頃までは休館して工事というような予定でおります。一番要望をいただいております、トイレにつきましては洋式化になります。

文化会館は手を加えなければならないところが多いわけですが、すごくお金がかかるということで、限られた予算の中で少しずつ進んでいるところでして、ご理解いただければと思います。

本日は委員の皆様から、忌憚のないご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議題

[梅原生涯学習課長]

ありがとうございました。

議題に入ります前に、会議公開について確認したいと思います。花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、本会議を公開してよろしいか伺います。こちらは会議終了後に本会議の議事録等が市のホームページで公開されることとなりますが、公開してもよろしいでしょうか。

—（異議なしの声）—

[梅原生涯学習課長]

ありがとうございました。それでは異議なしということで公開することにいたします。

それでは、議事に入らせていただきます。この後の進行につきましては、規則第 15 条第 2 項の規定により議長を多田会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

[多田会長]

それでは議長ということで、暫時進めさせていただきますので、皆さんご協力よろしくお願いいたします。

では次第にあります通り議題の（1）令和 6 年度花巻市文化会館の運営状況、途中経過について

お願いいたします。

[伊藤館長]

(1) 令和6年度花巻市文化会館の運営状況、途中経過について説明

[多田会長]

はい今館長さんの方から6年度、今年の2月までの状況を説明していただきました。

今の説明の後、報告に関しまして皆さんご質問等ございますでしょうか？手を挙げて発言をお願いいたします。

[菊池委員]

③のアウトリーチ事業の開催実績のところで、去年もいい形で地域の小学生の方たちと演奏家の方たちが現地に行っていて、今まで素晴らしい演奏と一緒に体験されて本当に感動とか、感性を育てるっていう意味ではものすごく大事だと思います。そのときに例えば今ここの文化会館が軸になって学校があるわけですが、アウトリーチ事業の演奏家さんをどのように依頼してお願いしているのでしょうか。

[伊藤館長]

この演奏家3名いらっしゃるのですが、アウトリーチ事業のリーダーが野尻小矢佳さんという方で、地域創造という首都圏の芸術活動を支援している団体があるのですが、その団体の登録演奏家です。全国のアウトリーチ事業等を支援するというチームに入っていて、東日本大震災の時に野尻さんは岩手県をかなり回られていて活動していたのが、北上市に波及し花巻市にも声がかかるという形で日程を擦り合わせて行っています。花巻市単独でお呼びしているのではなく、岩手県の沿岸被災地との連携活動の中に花巻市も組み入れていただいています。2校3コマという限られたところですが実施しております。

[菊池委員]

これからもましてや小学校の時から生で素晴らしい演奏が聴くことができ、その感動が文化会館でもバックヤードツアーのような体験だったり、中学生の職場体験も受け入れたり小学生中学生を招き入れて体験をさせたりしているのは、これからのこどものためにまたは職業として選んでいくかもしれないし、将来の楽しみとして素晴らしいことだと思います。今後ともよろしくお願いします。

[多田会長]

他に質問ありませんか。では私から。

一般鑑賞の中で「福井敬 賢治をうたう in イーハトーヴ」について、福井敬さんだけでな

く、地元の合唱団体が共演するような作り方だったわけですが、地元の合唱団の方々は何人くらい参加されたのでしょうか。

〔伊藤館長〕

はい、福井敬さんのコンサートは12月1日に開催されました。こちらのコンサートは福井敬さんと一緒にステージに立つ、という企画で市内の合唱団体から人数にしますと数えていないのですが約70名、高校生だけで20名、イーハトーヴ子ども合唱隊も約30名ほど、そして一般から花巻第九の会テラ・ムジコさんは一般募集をして歌のレッスンをして本番に臨まれたということで40名ほどいらしていただきました。控室としていた会議室が満杯になる現象が起きましたので、正確な人数は後程お知らせいたします。

〔多田会長〕

基本的には実績としてそういった形で行う催し物に関しては、福井さんと呼んで、一緒にその市民の皆さんも舞台に上がって舞台を作ったということで、そういうねらいだと思うので、別に今どうのこうのじゃないですけどちょっとそういった内容を一緒に舞台に上がった方の人数と数字もやっぱり一緒に演奏することができるっていうのは、観客だけではなくてプレイヤーが好きで歌っている人たちにもものすごく影響あることで、むしろこういうホールの舞台でなければ、そういうことができないっていう、文化会館の大ホールならではの利用方法じゃないかなと思います。そういった部分でも市民の皆さんにそういったことでもいわゆる還元しているというか、貢献していることになると思います。

後で数字だけは取っておいてください。

〔祓川委員〕

今の福井敬さんのコンサートですが、一般の人で聴きに来た方からあまりにも人数が少なくて、大ホール入ってきてみたらあまり人がいなかった、というのが一般で入った方から聞いたのと、参加した方からも同じく聞いて福井敬さんてすごく有名な方なので、その割にはみんなステージに上がったからお客さんが少なかったようですね。いずれ290人は少なくて、その方は福井さんに申し訳なかったという気持ちで、宣伝の仕方合唱部とかいろんなところでできなかったものかと話していました。本当に有名な先生なのでもったいなかった。

〔多田会長〕

令和6年の事業報告に関して何かございますでしょうか？なければ今度は令和7年度の運営方針の報告をお願いいたします。

〔伊藤館長〕

(2) 令和7年度花巻市文化会館の運営方針について説明

[佐藤委員]

工事内容にあった大ホールの天井は大丈夫なのでしょうか。

[伊藤館長]

大丈夫か、というところで申し上げますと現在法的基準が存在していない状態です。実は構造的に基準がない、建設面での判断が難しいところです。躯体の強度であれば耐震なのですが、天井については確たる調査方法がなくて。当館の天井は東日本大震災でも大丈夫でしたが、かなり振られているところです。同じ工法で落下したほかの施設がありまして、それから対策が必要だということになり、どんな対策がいいかということがだんだん普及してきたところ。要は、目立たないように美しく、しかも強いネットを張るっていう方法ですけれども、その方法が確立されてきたので、これでやればいいのではと。吊り天井というのは難しく、ああいう大空間は、ほとんどが吊り天井です。

[多田会長]

あくまでもごめんなさい補足しますけど、客席の天井で舞台天井ではなく、客席です。

確か東日本大震災時に、石鳥谷中学校の体育館とか西南中学校とかが落下しかけたことがありました。

[佐藤委員]

1年持てばいいですね。

[伊藤館長]

その何が起こるかわからないっていう意味では何とも言えないですけど、今のところ建築的に緊急性はないということです。違法でもないです。難しいところなのですが、高さがありますので、やっておかないと心配ということです。

[多田会長]

4月から自主事業始まるのでその公演内容に関しては発注済みだと思う。

ちょっと1点だけ。中ホールの子供向けのクラシックファミリーコンサート。フルートピアノパーカッションの。ターゲットってもっときっちり絞り込んだほうが良いと思います。「親子連れ」って言葉尻だと何歳と何歳でもいいのか。やっぱり6歳児から小学校3年生くらいまでとか。ターゲットを子どもにすると難しいのです。つまらないことするとみんな気にしないでその辺で遊んでしまうし、あまり広く狙うと意図が伝わらなかったり。お客さんがいっぱい来るとか来ないとかではなく、来たお客さんがどれくらい面白かったとかすごかったと帰ってもらうほうがいいと思うので、これを作る側の問題としてハードルがある問題ですけど、やっぱり「この層

に向けて」っていうはっきりしたものを、子ども相手だから手を抜く、ということではなくやっぱり曲調とか作りというものははっきりしたもので、文化会館側はオーダーするほうなので実は制作費というのをこの予算の中で、出演者や制作側をお願いするのだが、そしたらオーダーする内容っていうのは、もっと明確でわかりやすいものをオーダーした方が、向こうもいろんな人たちの中からこういうものを、という提案があった方が出しやすいと思います。

ちょっとこれだとターゲットがぼんやりしすぎかなと。

〔伊藤館長〕

こちらのターゲットは、就学前も OK の小学校低学年ぐらいまでを想定しています。

ファミリーコンサートということで、この日は午前中にファミリー、午後に自衛隊をやるようなかたちで、盛りだくさんとなります。じつはこの賛美音さんのコンサートは市が使用料の減免のみしてまして、公演そのものはオウンリスクです。座席にも少しゆとりをもって例えば小さいお子さんが眠たかったら寝かせてもいいよねっていうような形のレイアウトで進んでいくような形で考えています。

〔多田会長〕

おっしゃる通り他のターゲットの企画についても思いますし、市が減免したり主催者の都合だったり、お客様つまりチケット代払ってきた人にとっては、何の関係もないとなる。3,000 円払ってこのコンサート行きました。こういう空間と時間を共有してまいりました。でも会場が花巻市文化会館、または花巻市の自主事業ということになればそれなりの評価を受けるので、その辺は十分心得てそういったのも出演者とか、密な打ち合わせしてこっちからある程度の提案を出してもいいことと思います。

〔菅原委員〕

すいません。団体鑑賞事業ですけれども、PTA の方も鑑賞できることをお聞きしましてここに料金が載っていますけど、もし PTA の方でしたらおいくらになるのでしょうか。

〔伊藤館長〕

親御さんも同じ料金になります。

〔菅原委員〕

分かりました。それでですね、私ずっと考えていましたけれどもせっかくのこういうすごくいいプログラムですので、一般町民も芸術文化協会として呼びかけて、多くの方に鑑賞していただいた方がいいのではと思いますけれども、そのときにはどういう料金にしたらいいのでしょうか。

〔伊藤館長〕

そちらは学校側と調整が必要です。

学校側としては授業として扱うので、一般の方々と一緒に子供たちがトイレやスペースを使うところについては、学校側の意向によるところであります。おそらく、学校側としては、それは良しとはしないだろうと思います。一般公開の場合は難しいけれど保護者だけでも共有するところが、これまでの折衷案になります。

[菅原委員]

この公演会場は文化会館になりますか。

[伊藤館長]

そうです。少し説明しますと各小学校を4校とか2校とかを合同でまとめて実施しています。例えば小学校高学年の2日目の午前中だと花巻小学校、大迫小学校、八幡小学校、東和小学校がバスに乗って文化会館に来る。

各学校が揃うまで待つて、その間本を読んでいたりすることもありますけど、そういったことがあってそれで開演し演劇を見て、帰るときも少し待ったりしながら、実はそれ自体も先生方はかなり大変そうなので保護者さんであれば、子供たちのそういった実状にもご理解いただける形です。

[菅原委員]

その事業の一環としてするから、学校の方にも問題ないですけど、今働き方改革っていうのがすごく関わってきましてね、何かするにしても、もう校長先生から働き方改革でだめですって言われるから。

[伊藤館長]

教員の方にとっての観点の一つですね。

[菅原委員]

そうなんですよね。とても厳しい。でもこれはいい事業だと思います。

[多田会長]

オペラシアターこんにゃく座に関しては、花巻で何回も賢治作品上演をやっていますし、20何年前に宮沢賢治のイーハトーブ賞を受賞して、ただなかなか花巻でやる機会がなくて、遠野市で公演したりとか、久しぶりに花巻での上演で面白いなと思います。

他にはありますか。

いわゆる改修工事が入って、来年の1年後の4月から10月まではもうあんまり使えない。

文化会館の施設全部使えない状況になりますので、その市民芸術祭の実行委員会としてもいろんな調整が生じますけれども、ただどうしてもその期間内に文化会館を使わず他の場所でしなきゃいけないっていうのは話をしていますし、ギュッとつまる状態になる。

私が言うのもなんですがその間、他のどうしても日程がずらせないために、市の類似施設を使いたい場合に市としての特別な措置は、考えられてますでしょうか？というのはぶっちゃけた話、もし文化会館の中ホールでやっているものをなはんプラザで代替えた場合の文化会館の減免規定を適用してほしいなど。なはんプラザにはそういった減免規定がないので、同じ市の施設なので。

4月から始まるわけじゃないですけども、もう1年後のことはみんな予定するわけですから何とかできませんでしょうか。

部長さんが違う部の建物ですけどもその辺はどんな感じでしょう。

[梅原課長]

なはんプラザを所管しております商工労政課には文化会館が休館になることを説明し相談しております。市民芸術祭については市の主催事業ですが、普段の練習などそういうときはどのような減免方法があるか、文化会館では30%減免という規定があるので、今商工労政課に検討してもらっています。現時点では話し合いを始めたところですので、「こうなります」という（決まった）お話はできませんが、なはんプラザでも空調工事の予定があるそうですので、その情報も聞きながらあたりたいと思っていました。

[多田会長]

ここでどうのこうのって結論でもないでしょうね。ただそういう状況に陥るので、何とかそういう対応策をおられるのかどうかを早めにお願ひしたいです。

[佐々木副会長]

込み入った話ですけど、実はなはんプラザも空調工事は来年度に空調工事入る予定ですが、文化会館の工事が大工事なので文化会館の工事を終わった後に、空調の工事を行うという方針ですが、休館すると苦情が出るから、開けたままで何とか工事できないか言われています。

なはんプラザも工事をしなきゃないが、フロアごとにやるとか、なんとかかんとか組み立てるしかないかなっていう話をしながら、対応する方向ですので8年度、そういったことについても、対応させていただくことになるかと思いますので、よろしくお願ひいたします。

[多田会長]

その通りだと思います。50歳を迎えた建物が、ちょっとずつだましてきたけどもうあの騙せな

い状況になっていることはしょうがないことで、どうしても長期化という長くもたせると決めた以上それしかないと思います。

〔祓川委員〕

やっぱり一般の予約については、10月まで閉めているので、1年前になったら、駄目もとで問い合わせればよいのでしょうか。どこが空いてますかと。

〔伊藤館長〕

10月末まで工事なので一般の場合は10月以降使いたいときに、例えば、令和7年の11月1日に令和8年11月1日空いているかどうかとご相談いただくことになります。

〔祓川委員〕

工期は工期でしょうから、その休館時期の案ですけれども余裕をもった休館だと思う。

ただトイレが工事になるのはすごく嬉しくてすごく喜んでおります。

〔多田会長〕

そうです。お客様と利用者の方にあっては、バリアフリー、優くなるでしょう。

審議事項じゃないですが駐車場の利用方法をね、どうしても図書館と図書館利用者と文化会館利用者っていう明確に分けているのはどんなものでしょう。

業務車両であれば図書館に停めているのがわかるのですが、市の施設の駐車場は大変じゃないですけど逆に楽屋口を使わない人たちに関して、結構な荷物になります。両手に抱えて大駐車場からここまで来なきゃいけない。

楽屋入り口駐車場なんかすぐもうトラックが入ってれば、もうそれで入れないからとかっていうのであれば、分かりますが。

〔佐藤委員〕

お話の通りいつも思っています。

同じ市の駐車場なのに、先日も踊りの会で大駐車場から両手にスーツケースを持って楽屋の方まで行って、なんでこっちの図書館の空いてるのんじゃないかな、同じ市の土地なのじゃないかな、毎回通っています。でも途中で呼び出しされるのも嫌だから大駐車場の方に停めているんですが。

どうせ空いているなら図書館の利用者だって大駐車場の方から歩いて、図書館の方へ行ってもいいのではなかったりもしているんですけど。こないだの市婦協主催の映画会にしても、図書館駐車場の方はダメということで、行きたいお客さんがいても大駐車場にと徹底してるんですけど、

杖をついた人も、向こうから歩いてきて、図書館側駐車場空いているときはこういう人だけでも停めてあげてもいいのと思います。そこにやっぱり何かあるのですか。

[梅原課長]

使ってはいけない、ということではないのですが、どうしても文化会館で大きな事業があると図書館側の駐車場が先に埋まってしまって、図書館を利用するお客様が駐車できなかったり、先に停めていた図書館利用のお客様が出られないような止め方をされたりするときがあるんですね。平日などそんなに混んでいないときは自由でいいと思いますが、土日や大ホールにお客さんがいっぱい入るようなときになるとそうした問題が起こってきます。

もちろん足の不自由な方や、杖を利用している方などは図書館側の駐車場を利用いただきたいと思います。

[佐藤委員]

いまの固定的な概念ではなくて、「図書館と文化会館の利用者の駐車場はここですよ」というような考え方はできないものでしょうか。図書館の利用者はこちら、というのではなく図書館の利用者も大駐車場を利用しても構いませんよ。ただ、「図書館も文化会館も同じ共有した駐車場がここ」という概念はどのようなでしょう。

[梅原課長]

もちろん、図書館側の駐車場がいっぱいだ図書館利用のお客様も大駐車場から歩いていらっしゃるんで、共有の駐車場という概念はもっていらっしゃると思います。

[多田会長]

利用者同士の話なので、行政が図書館と文化会館を分けてるっていうことではなくて、だから今でも佐藤さんおっしゃったように、「若葉町市民駐車場」みたいな方で、大きい括りにすれば、それを管理するのはどっちの部局っていうのはもちろんわからない話ですけどもそしたらここは、ずっとおっしゃっているように図書館と文化会館の利用者のための駐車用ですよと案内すればいいのかな。何年か先だと思いますけど図書館は移転するようになったみたいですから。

[菅野部長]

基本的には文化会館の事業が大きくて、図書館利用者が利用できないということもあるので、こういう形になっていますけど柔軟な対応はいたします。ただどこまで柔軟かと言われると難しいところですが、例えば足の不自由な人が利用したいということであれば、どちらかの施設にご相談いただければ、対応いたしますので。

[多田会長]

文化会館で朝から始まる事業って少ないから、基本的には何かの大会であれば別でしょうけど。

[高橋トシ委員]

昨日文化会館は使わせてもらいましたけど、すごく音響が良かったっていうみんな言っていました。

ただ、トイレについては工事が始まるということで嬉しいです。もう昨日すごく並んだんですよ。高齢の方たちが多いものですから、和式トイレに入れない。入れないっていうか、しゃがめなくて、それで洋式トイレにすごく並んだようです。

[菅野部長]

総合体育館は、文化会館に比べたら新しい建物じゃないですか。でもまだやっぱり和式があるんですね。和式から洋式への工事がほかの施設でもありまして、ただ和式から洋式に便器を変えるだけでなく個室スペースの問題もあります。

[多田会長]

工事することに決まったでしょうから、まずはそれまで皆さんがお待ちくださいということで。

他に7年度の文化会館の運営方針についてはよろしいですか。

ではこれを持ちまして議事を終了いたします。

ありがとうございました。

4. 閉会

[梅原生涯学習課長]

多田会長ありがとうございました。議題にはありませんが、その他として皆様からもしご意見等があれば承ります。

(なしの声)

それでは以上を持ちまして、令和6年度第2回花巻市文化会館運営審議会を閉会いたします。

委員の皆様、本日はありがとうございました。